

サウジアラビアにおける環境管理システム事業の概要

1 事業名

MODON[†]環境管理システム（MEMS[‡]）フェーズ1

[†]MODON：サウジアラビア工業用地公団

[‡]MEMS：MODON Environment Management System

2 事業内容

工業団地の環境マネジメント（監視）、環境制度設計を含めた既存の環境問題の改善、エコシティ・環境管理ビジネスモデルの立案などの要望を踏まえ、サウジアラビア工業用地公団（MODON：商工省所管の公社）と富士通アラビアが平成25年3月11日に環境管理システムの構築と運用に関する契約を締結しました。

対象となる工業団地は、ダンマン第二、リヤド第二、ジェッダ第一の主要3工業団地で、広さは約50k㎡、労働者は約27.5万人。なお、MODONは、国内で28の工業団地（開発中含む）を運営しています。

大気や水の状態を計測するセンサーを設置し、環境汚染を常時監視するモニタリングシステムを構築します。また、システム構築後のシステム運用および環境モニタリング業務の代行、センサーから得られた蓄積データに基づく環境改善に向けた各種のコンサルティングを実施します。

3 事業スキーム

富士通、富士電機、メタウォーター、みずほ銀行のコンソーシアムにより、事業を実施します。

4 フェーズ1のスケジュール及び総事業費

構築期間：2013年3月～11月（8か月）

運用期間：2013年12月～2014年11月（12か月）

併せて20か月

総事業費：2,700万サウジリアル（約7億円）

5 これまでの経緯

- ・ 2011年10月 経済産業省海外インフラ調査委託事業「サウジ工業団地のスマート化」として採択
- ・ 2011年12月～2012年1月 現地調査（ダンマン第二・リヤド第二）を実施し、大気（SO_x、NO_x等）や水（COD等）の環境基準超過等を計測
- ・ 2012年2月 枝野経済産業大臣およびタウフィーク商工大臣立会いの下、工業団地の環境管理およびエコシティに関する覚書を締結
- ・ 2012年6月 経済産業省委託事業への本市協力について合意
- ・ 2012年11月 川崎市環境局職員2名が、現地視察ならびにMODON主催の現地環境シンポジウムで講演。あわせてMODONと環境管理に関する意見交換を実施

6 今後の展開

今回の三工業団地以外への環境管理システムの全国展開や、環境問題の改善に向けた環境改善・省エネシステム・機器の導入、さらにはスマートシティ化に向けた各種インフラシステムの整備などを視野に入れて事業展開を実施する予定です。